

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和3年度 第5回人材確保育成部会 会議録

日時 令和4年3月4日(金) 13:30~15:00

場所 オンライン開催

出席者 10名

乙訓障がい者基幹相談支援センター、乙訓ひまわり園地域連携室、向日市社協障がい者地域生活支援センター、大山崎町社会福祉協議会、乙訓若竹苑、障がい福祉センターあらぐさ、乙訓の里、乙訓保健所福祉課、向日市障がい者支援課、大山崎町福祉課

欠席者 4名

こらぼねっと京都、障害者支援施設晨光苑、長岡京市障がい福祉課、長岡京市商工会

事務局 2名

傍聴者 1名

配布資料

- ・次第
- ・チラシ
- ・インターンシップ計画(案)
- ・活動報告(案)

議事概要

事務局 ・第5回人材確保育成部会を始める。

・こらぼねっと、晨光苑、長岡京市障がい福祉課、長岡京市商工会の委員から欠席連絡をいただいている。向日市社協、向日市障がい者支援課の委員は途中退席されるとのことである。傍聴の方が1名おられる。

部会長 ・次第に沿ってだが、副部会長が中座されるので、先に2活動報告の確認をしたい。

2 活動報告の確認

副部会長 ・※活動報告(案) 1から4の説明

委員 ・2ページ目4の上から4行目の「学生と求職者とのつながり」のところで、求職者は雇用関係を求めている人なのでここは求人者か事業所の方が正しいと思う。

副部会長 ・※活動報告(案) 5の説明

・筋的には間違っていないと思うが何かあるだろうか。

部会長 ・(1)の文章内の「乙訓はおもしろそう」という文言はどうだろうか。もっと具体的な方がいい。

副部会長 ・ここだけ口語になっている。アイデアが思い浮かばないのであとで考えたい。興味をもってもらうようにとする。

部会長 ・副部会長は都合により退席されるのでここから私が進行したい。

- ・1 設置の目的、役割等はこのままで大丈夫か。
- ・2 発足までの経過の中に「2市1町が共同で設置を計画している地域生活支援拠点の実現」とあるが、このままで大丈夫か。

委員 ・長岡京市が主体なのでいろいろな資料で確認してふさわしい文言にしたい。

部会長 ・地域生活支援拠点部会で使っていた文言なので、当時と状況が変わってきていると思う。確認して部会長、副部会長、GMで考えたい。

・3 今年度の取り組み状況について間違いはないか。開催方法が、オンラインと対面とわかるようになっている。

・4 今年度の活動について。先ほど「求職者」ではないとの指摘が出ていたが、「求人者」もあまり使わないので「事業所」にしたい。

事務局 ・はじめの5行に区切れがなく長すぎるのでわかりやすい文章にしたい。

委員 ・「求職者」を「事業所」に変えたが、その後にもある「求職者」は事業所という意味合いではないのでそのままでもいいだろうか。

部会長 ・どうだろうか。このままで、「求職者」は統一したい。

委員 ・4の文章の中で、学生のことをずっと言っているのに、「このことから、」というまとめに入ったところで、「求職者」となるのはどうだろうか。

部会長 ・ひとつ目の段落については「学生」に統一しよう。作ってみて全体を見てまた修正したい。

・(1) 圏域でのインターンシップ受け入れの仕組づくりについていかがだろうか。

事務局 ・副部会長と協議して、(1)に武田先生の学習会の要項を〈資料1〉として添付することにした。それで講演の目的がわかると思う。

部会長 ・(2)にチラシのことが出ているが、チラシは「乙訓モデル」のからみで作成したので(1)にいがたいがどうだろうか。5 次年度の取組みにも(1)に「チラシのアップデート」とある。

・異議はないようなのでそのようにしたい。(1)(2)ともに添付資料と文章の修正をしたい。

・「乙訓地域商工会」で良かったか。

事務局 ・全体会の名簿にあった名称で使った。

部会長 ・乙訓地域商工会を代表して長岡京市商工会から委員になられているので。

事務局 ・長岡京市商工会に訂正する。

部会長 ・(2) 転職者向けセミナーの検討についてどうだろうか。

委員 ・他の部会等の活動報告と差違がないように考えるのであれば、「まったくゼロの状態から」ではなく「最初」と置き換えた方がいいのではないか。「方策を最初から構築することは」とするか。表現方法の問題だが。

部会長 ・それでいいだろうか。そのように修正したい。

・(3) 圏域内法人による人材育成方法の共有についてどうだろうか。

- 事務局 ・「新任職員連続講座」のチラシを〈資料3〉としておいた。
- 部会長 ・最後の3行、「参加した新任職員同士がつながる機会を提供し、横のつながりによる離職の抑制効果を狙いましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン形式の開催となり十分な効果を得られませんでした」の方がいいと思う。
- 委員 ・細かいことだが、「参加者した」ではなく、「参加した」だと思う。
- 部会長 ・(4)事務局について これも文章が長いので精査したい。内容についてどうだろうか。
- 事務局 ・少し説明をしたい。部会の中で、中立かつ公平な立場での対応が必要ではないかとの意見があり、それは乙福ではないかと賛同を得た。その後、私と部会長、副部会長で相談をして、「乙訓での人材確保・育成に関わる窓口業務について」という依頼文書を作成し、乙福に依頼した。依頼文書に窓口業務の具体的内容をまとめた。チラシの更新、チラシの印刷の発注、近隣の大学や就職フェアへの参加申し込み、出展時の対応、インターンシップ窓口、人材育成に関わって令和4年度以降の協議の中で出てくるであろう事務的業務、例えば、各法人の持っている人材育成プログラムの集約等、以上6点を依頼した。その結果、乙福の基幹相談支援センターで受けるという回答を得たのでこの文面上は「回答をいただいた」と変更している。
- ・「事務局」とすると言葉的に大げさに取れるので「窓口業務の設置について」とした方がいいと思う。
- 委員 ・私の手元資料は昨日夕方届いたものだが、事務局が画面で今示されているものと全く違うのだが。
- 事務局 ・副部会長が最終的に変更した最新版報告案が部会員のみなさんに渡っていないようだ。窓口業務を乙福に受諾いただいたのが最近のことなので、報告案への掲載を、「5 次年度の取組み」から「4 今年度の活動」へ急遽移している。
- 部会長 ・依頼文書を参考資料としてのせた方がいいだろうか。
- 事務局 ・文書をのせると縛られると思う。業務の具体的内容は依頼文書の裏面に資料としてつけたものである。
- 部会長 ・報告書には資料添付はしないで説明を求められたら口頭説明をする。
- 委員 ・「中立に公平な」という言葉にひっかかっている。
- 部会長 ・文言の体裁はまた整えたい。乙福が中立公平ということは大丈夫か。
- 委員 ・中立と公平は同じ意味なので文言の使い方としてどうかと思った。「他の事業所の紹介などもするので公平な立場で」とした方がいい。
- 部会長 ・一任していただきたい。
- ・5 次年度の取組みについて。【拡充】、【継続】という表現はどうだろうか。
- 委員 ・京都府の予算申請時にこのような使い方をする。私は見慣れている行政用語だ。使い方も間違っていない。
- 部会長 ・この形でいきたい。
- ・「乙訓はおもしろそう」にかわる言葉を何か思いつかれたらどうか。
- 委員 ・まだ思いつかない。
- 委員 ・シンプルに興味をもってもらえるようにということだと思うのだが。
- 部会長 ・何がおもしろそうなのかっこみたくなる。

・(1) 圏域でのインターンシップ受け入れの仕組みづくり【拡充】の中に、マスコミを活用した広報活動の強化とあるが、具体的な作戦はあるだろうか。

事務局 ・チラシを試行として作ったので、もっとたくさんの事業所に参加を募って更新して、新聞に取材掲載してもらいたいと思う。あと、商工会の就職フェアがあれば取材を願いたい。

部会長 ・動き始めたら京都新聞の洛西総局にきてもらうといい。

・(2) 圏域内へ転職求職者の確保に向けた連携の強化【継続】について。今回、長岡京市商工会と連携したが、向日市や大山崎町とはどうだろうか。

事務局 ・チラシを2市1町の商工会に置かせてもらおうと思っている。

部会長 ・次年度は幅広くアプローチしていきたい。

・(3) 圏域内法人による人材育成方法の共有【拡充】について。

・最初の一文に「次年度から」となっているが、今年度からこの部会で新任職員連続講座を実施したのでこれはいらぬのではないか。

事務局 ・昨年度末から GM が事務局事業として具体的な講座内容の準備をしていた。今年度、部会が発足した段階で、一緒に実施したことになる。

部会長 ・本格的な部会の事業として取組むのは次年度からになると理解した。

委員 ・手元の資料を読み込んで意見を用意してきたが、今、違うもので進行されているので難しい。最新版を改めて配布していただいて意見を集約されるとありがたい。

部会長 ・報告書完成の期限はいつだろうか。

事務局 ・今日の意見による修正をして夕方には運営委員に送ることになっている。来週火曜日にある運営委員会に出たものをもう一度みなさんに送るので、また文言をもんで副部会長に修正を連絡してほしい。

部会長 ・連続講座は対面でやりたい。それによって交流を深めたい。時間帯によっては参加しにくいという声もあるので並行してライブ配信をするといい。そうするとわざわざ対面に行かなくてもいいとなる。対面で実施して撮影だけしてアーカイブで配信するのがよいか。状況による。

・毎年3回実施しているが同じでいいか。具体的内容に関してはどうだろうか。

事務局 ・私個人としては、乙障協、就労のたけのこネットワーク、相談支援連絡会、児童通所連絡会等、乙訓圏域にあるネットワークの構成や活動内容についてがいいかと思っている。委員のみなさんと決めたい。連続講座だけでなく、新任に関わらず、他圏域の事業所の見学会などもできればと思う。

部会長 ・いろんなアイデアがでたがみなさんどうだろうか。乙訓のネットワークについては私も知りたいが、新任職員には幅が広すぎて難しいかもしれない。先駆的な取組みをされている事業所の方にお話を聞くのもいいと思う。

・人材育成に関わっている各法人のスタッフの意見交換の機会もできるといい。どういう形で開催できるかわからないがやってみたい。

・今の段階での意見を集約して運営委員会にとおしたい。

1 就職フェア(3/6)にむけて

チラシの確認

事務局 ・裏面の問い合わせ先の名前が「夏川」になっていたが、今後、基幹相談支援センターで受けていくことになるので表記を変更することを確認していただきたい。

部会長 ・各事業所で印刷して、3月6日の就職フェアに出展される事業所はブースで紹介してほしい。出展事業所の一覧が届いている。てくてく、向陵会、あらぐさ、乙訓福祉会、晨光苑と高齢者事業所も参加されるようだ。てくてくはチラシに参加されていないが案内しておきたい。「乙訓モデル」の紹介をしたい。

インターンシップ交流

部会長 ・事務局で資料「インターンシップ計画」を用意していただいている。確認いただき、各事業所がこれからインターンシップを進めて行くにあたって参考にしてほしい。

・質問等あるだろうか。3月6日の就職フェア以降に問い合わせがあるかもしれない。

その他のチラシ配布場所

事務局 ・来週から2市1町と保健所、商工会にチラシを置いていただこうと思っている。近隣の大学として、大阪保専、京都保専、西山短大に電話をして学生対象にチラシを置かせていただけるようお願いしたい。チラシはカラー印刷20枚ずつ配布になる。

部会長 ・次年度予算で印刷してもらうことになっていたと思うが何部だったか。

事務局 ・友愛印刷で200枚だったと思う。足りないと思うのでまた各事業所に印刷の協力を得たい。

・次年度の第1回部会は6月ごろになると思うが、早々に、他にチラシに参加される事業所を募って集約しチラシの内容を更新し印刷したい。

部会長 ・各事業所がもつ大学のつながりなども利用すれば配布先はたくさんあると思う。今後はもっと枚数が必要になる。

事務局 ・8月が予算申請の締め切りなのでそれまでに枚数を決めていただきたい。

委員 ・SNSでの紹介ができる事業所にはぜひチラシの紹介もお願いしたい。

部会長 ・ホームページでの働きかけなどほしい。

3 その他

事務局 ・活動報告案に関して、今日の意見をもとに修正をしたものを運営委員会に出して、運営委員会での修正をしたものを各部会員に送ることになる。また確認をお願いしたい。

部会長 ・それをまた運営委員会にはかることになるのか。

事務局 ・運営委員会では、今年の活動内容と次年度の活動計画を確認するので、文言については部会内で協議して、3月末には全体会に向けて印刷にかかる。みなさんには22日を目標にして文言の修正等意見をいただきたい。

部会長 ・これで終わるが、みなさんから何か共有したいこと等あるだろうか。

・次年度もできる限り継続で委員になっていただけるとありがたい。

事務局 ・1年間ありがとうございました。5回のうち2回だけが対面開催だった。コロナで何らかの宣言が出ていた1年だった。オンラインでなんとか議事進行ができ、みなさんのおかげだと思う。

部会長 ・令和3年度の部会を終了する。お疲れ様でした。